

令和 8 年 8 月 13 日

桑折町議会議長 原 賢 志 様

桑折町議会議員

2 番 齋藤松夫



一 般 質 問 通 告 書

桑折町議会会議規則第 6 1 条第 2 項により次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1、上水道第 5 次 拡張事業と水道料 金対策について	（1）6 月定例会で基本構想並びに基本計画策定経費は、地方交付税措置の対象外である旨の答弁をいただいたが、その根拠を具体的に示していただきたい。 （2）水道料金値上げ回避の観点から、当局より提出していただいた「水道事業に係る予算制度の解説資料（令和 8 年 4 月版）」を見せていただいた。その結果は民営簡易水道の統合を含む第 5 次拡張事業に対する国の財政支援（補助金・交付金・交付税措置）獲得は可能との判断に至った。当局におかれても同様であるかと考えるが、当局の予定補助事業（交付金）及び補助率等、補助対象事業を伺う。 （3）同様に当該事業での起債元利償還金に対する地方交付税措置もあると考えるが、所見はどうか伺う。 （4）同時にこれら財政支援制度の適用を受けるためには、上位計画との整合は欠くことができないものとする。現在進行中の基本計画等策定事業もそのようにすすめていると承知して良いか伺う。 （5）第 5 次拡張計画着工年次を令和 1 3 年度とした	町 長

様式4 一般質問通告（会議規則第61条、運用基準84）

	理由は、水道料金値上げ回避のため、第4次拡張事業時の起債償還を大半終えてからの着工にあったとのことである。そこで伺うが、着工年次設定の時点で国補助及び地方交付税措置活用の視点があったか否かを伺う。	
2、義務教育学校設置方針見直しについて	（1）桑折町の学校統廃合についての検討、すなわち醸芳中学校敷地内に義務教育学校を設置するとの町方針は、保護者や住民に対する周知はなされても、一番大事な住民の合意なき決定であり、後世に禍根を残す恐れ大と言わざるを得ない。 文科省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」（以下、学校統廃合の手引きという）は、次のように述べている。 「学校統合の適否を検討する上では、学校教育での直接の受益者である児童生徒の保護者や将来の受益者である就学前の保護者の声を重視しつつ、地域住民や地域の学校支援組織と教育上の課題やまちづくりを含めた将来ビジョンを共有し、十分な理解や協力を得ながらすすめていくことが大切になってきます。」 この手引きに反するやり方ですすめられたこの決定は、すみやかに白紙に戻し、いまいちど小中学校のあり方検討委員会の提言の時点に立ち返り、当該事務をやり直すことである。 これこそ合併ではなく自立（自律）のみちを選択した桑折町が進むべき道であると考えます。この点所見はどうか伺う。 （2）学校統廃合問題に対処するにあたり、町部局及び教育委員会は、文科省の「学校統廃合の手引き」を念頭に置き、かつその認識を共有しつつ事務をすすめたか否かを伺う。 教育長は関係者においてこの認識を共有すべくその手立てを講じたか否かを伺う。なおこの検討に参画したスタッフ（職名で結構）を伺う。 （3）義務教育学校に関する成果及び問題点の検証が進められる段階となっている。かつ義務教育学校は採用しないとの方針に転換した自治体も出ている。	町 長 教育長

様式4 一般質問通告（会議規則第61条、運用基準84）

	義務教育学校設置決定に至る検討過程において、このような事実を関係者間で共有されていたがどうかを伺う。 （４）スクールバスの運行等、通学のあり方については、開校準備委員会での検討という位置づけである。統合にあたり真っ先に検討しなければならないものを後回しにする理由を伺う。 はじめに検討課題とすれば収拾がつかなくなると考えてのことか。所見を伺う。 （５）文科省の「学校統廃合の手引きで」は、「まちづくりも含めた将来ビジョンを共有」すべきとしている。まちづくりと地域コミュニティの見地からすれば、統合小学校は醸芳小学校敷地内に建設すべきと考える。その選択肢は当初からなかったように見られるが、その理由は何かを伺う。	教育長 町 長 教育長
3、組合立公立藤田病院に対する繰り出し金について	（１）公立藤田病院に対する総務省指針に基づく、不採算部門への本町繰り出し金の有無を伺う。あればその具体的内容を伺う。なければ藤田病院には不採算部門は存在しないと解してよろしいか伺う。	町 長
4、審査請求裁決の前提たる審査委員会審査内容について	（１）審査委員会答申書には、審査請求人が提出した反論書に対するコメントが全くない。反論書は審査会で審査されたのか否かを伺う。 （２）審査されたのであれば、その結果等についてのコメントがあるはずだが、答申書にはそれが見られないことへの所見を伺う。	町 長